

大会宣言(案)

山形県連合小学校長会は、子どもたちが心身ともにたくましく人間性豊かに成長することを願い、小学校教育の充実・発展のため真摯に研究と実践を積み重ねてきた。また、本大会に向けて、令和3年度より大会主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に改め、その実現を目指し、研究と実践に組織をあげて取り組んできた。

これまで私たちは、東日本大震災とそれに伴う原子力発電事故からの復興の中で、「絆」の重要性と自他の「いのち」や「生き方」について深く考え、人々がつながることへの思いを共有してきた。

そして現在は、国際平和のゆらぎ、地球環境問題、感染症対応、DXによる社会構造の変化、急速に進む少子高齢化に伴う人口減少、価値の多様化、地域コミュニティの弱体化など未知の課題にあふれ、未来は予測困難な状況である。

このような中、学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校教育の原点である「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」を確実に行っていく必要がある。

私たち校長は、高い教育理念と明確な経営理念のもと、「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり」を目指す山形らしい教育を一層推進し、いのち輝く子どもを育てる学校経営を創出していきたい。

ここに第78回山形県連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

- 一、人間力に満ちあふれ、社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営を推進する。
- 一、「生きる力」を育む創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。
- 一、地域の自然や歴史・伝統・文化と道徳教育を中核にした心の教育を充実する。
- 一、新型コロナウイルス感染症拡大防止を含めたこれまでの経験を踏まえ、安全で安心できる教環境づくりに努める。
- 一、校長自らの研鑽を深め、明確な構想のもとリーダーシップを発揮し学校を経営する。
- 一、教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」を一層推進する。

以上、宣言する。

令和6年6月14日

第78回 山形県連合小学校長会研究協議会